## 海底土中のPu分析結果

1. 測定結果: (データ集約:1/7) (単位:Ba/ka·乾土)

			( + E · Pq/Ng + L - /
採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+240
福島第一 5,6号機放水口北側	2015年10月14日	N.D. [1.2 × 10 <sup>-2</sup> ]	$(8.8 \pm 0.97) \times 10^{-2}$
福島第一 南放水口付近		N.D. $[8.7 \times 10^{-3}]$	$(4.7 \pm 0.64) \times 10^{-2}$
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲 (平成11年度~平成20年度) <sup>1</sup>		-	$1.7 \times 10^{-1} \sim 5.6 \times 10^{-1}$
国内における過去の測定値の範囲(平成18年度~平成22年度)		N.D. ~ 6 × 10 <sup>-2</sup>	-

1内は検出限界値を示す

1:出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」

(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会) 2:出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関:日本分析センター

## 3.評価:

2015年10月14日に検出されたPu-239+240の濃度は,福島第一及び福島第二付近の近海における過去の 測定値の範囲内であることから、今回の事故に由来するものとは判断できない。

以上